

わたしたちの光六小

開校記念誌



東京都練馬区立光が丘第六小学校

校歌

新山賢治 作詞
笹倉重男 作曲

一、優しい光と 緑の風と

小鳥が空で 朝を告げる

さあ出発だ

大地の息吹を 大きく吸って

光が丘第六小学校

二、遠い未来の 大きな希望

ゆったり見つめ 胸を張ろう

さあ出発だ

夢に向って 一歩ずつ歩こう

光が丘第六小学校



登校風景



教育目標
自分を
みがき
つづける
子ども

もくじ

校旗・教育目標	1
開校によせて	2
学校長	成田秀和
PTA会長	鈴木和子
祝 辞	3
練馬区長	岩波三郎
練馬区教育委員会教育長	下田迪雄
校歌について	4
学校の概要(図面を中心に)	5
開校前→開校のようす(アルバムから)	10
校章について	14
学級のページ	15
職員集合写真及び氏名	28

創立にあたって



「出会い」から「ふれあい」へ

学校長

成田 秀和

児童数が激減しているなかにあつて、東京都の小学校の数は本年度、一四二一校から一校だけ増えました。それが本校です。

光が丘団地の建設が始まってから六年、間もなく二三区内最大の住宅プロジェクトが完成を迎えます。都内はもとより、日本各地から集まった居住人口は約四二〇〇〇人。人々の巨大な「出会い」の中で光が丘第六小学校は誕生したわけです。

光が丘は優れた都市機能を備えています。ここが町としての形質を高め、子どもたちにとって本当のふるさとなつていくまでには、まだまだ多くの課題があるように思います。その最たるものは、ここに住む人々どうしのふれあいの密度をどう濃くしていくか、ということではないでしょうか。

この点で私は、本校の歩むべき道は教育本来の役割を果たすことほもちろん、新しい町づくりに貢献していくことにもあると考えています。

地域の中で学校ほど大勢の人々が共に語り合い、見知らぬどうしがつながりを持つる場はありません。幸い本校には力量ある教員・主査・主事さんが集まっています。理性と温かさにあふれた保護者の方々がおられます。共に手を携えて、光が丘での良い「出会い」を良い「ふれあい」にまで高めていきたいと願っております。

最後になりましたが、子どもたちのために素晴らしい教育環境をつくって下さった区並びに区教育委員会に深く感謝申し上げます。



はじめての一步

PTA会長

鈴木 和子

開校を心からお喜び申し上げます。

光が丘第六小学校が開校した頃は、校庭はまだ使用出来ず、工事もところどころで行なわれていました。校庭で遊ぶ子供達の姿を見てやっと学校らしくなったと安心致しました。設備の整っていないところからのスタートは、先生方にとって、大変なご苦勞をなさったのではと思いますが、子供達にとっては、これらの事は印象深く残っているにちがいません。

新設校ということで学校区域が変わったり、光が丘に引っ越してきたりと子供達にとって目まぐるしく環境が変わりました。けれども先生方や、友達との新しくそして素晴らしい出会いがあり、短い期間中に多くの事を体験することが出来ました。先生方のおかげで、子供達はすぐに新しい環境に慣れたようです。

私達も子供を通して親同士が仲良くなれば、子供達を取り巻く、光が丘の環境についても少しずつ関心が向けられ、地域の輪が広がるのではないかと思います。子供達も自分を知っている大人が大勢いるという事は、親とは違う別の見方をしてくれて、心が安らぐのではないのでしょうか。

子供達が日々楽しい学校生活を送り、光が丘第六小学校を卒業しても懐かしく思い出される様に、先生方と父母とが協力しあい、子供達が心身共にすこやかに成長する為に一歩ずつあゆんでいきたいと思えます。これからご協力下さいます様よろしくお願い申し上げます。

創立を祝して



創立にあたって

練馬区長

岩波 三郎

練馬区立光が丘第六小学校開校記念式典を挙行するにあたり心からお慶び申しあげます。また、開校記念誌の発行をお祝い申しあげます。

今日のこの日を迎えるにあたりましては、保護者の皆さんをはじめ地域の方々のご理解・ご協力と校長先生をはじめ教職員の皆さんのご協力があったればこそと思います。

さて、光が丘第六小学校が開校してから六か月が過ぎました。本校は、光が丘にお住まいの皆さんから大きな期待を受け、練馬区立小学校の六十九校目、光が丘では八校目の学校として誕生いたしました。

光が丘は、みなさんが新しくつくっていく町であります。家庭、地域そして学校が一体となって、明るく楽しく暮らせる地域社会に育てていって欲しいと思います。

そして、何よりも、学校は、教育の場であるとともに地域に開かれた場であることを望みます。それには、学校のご努力も必要ですが、保護者、地域の皆さんには学校の教育方針をご理解をいただきご協力をいただくことをお願いいたしますと存じます。

教育には愛と信頼がなくてはなりません。人と人とのふれあいを大切にして、こどもたちが温かい雰囲気の中で、将来に夢をもち、毎日を楽しく生きていくことができることを切に願うものであります。終わりに光が丘第六小学校のご発展と皆様のご健勝を祈念しお祝いのご挨拶といたします。



開校を祝して

練馬区教育委員会教育長

下田 迪雄

練馬区立光が丘第六小学校の開校、おめでとうございませす。心よりお祝い申し上げます。

光が丘地区は、今、緑豊かな公園、広い道路、文化施設、そして中高層住宅などが建設され、緑と文化のにおう町づくりにむかって、開発が着々と推し進められております。

本校は、その光が丘地区で八番目、練馬区の中でもっとも新しい小学校として開校しました。

多目的スペースを備えた四階建校舎と広い校庭は、二十一世紀に生きる子供達を育む上で、非常に優れた教育施設であり環境であります。地域に根ざす学校として親しんでいただけたらと思います。

学校の教育目標には、「自分をみがきつづける子ども」を掲げ、生涯教育の視点をふまえた教育が進められております。特に一人一人の児童の個性を生かした指導の工夫、お互いが理解し合い協力し合う人間関係、児童と教師の温かい心の触れ合いを重視した教育活動が展開されております。

新しい教育課程の編成、学校生活のリズム、土台づくりは、大変な仕事です。校長先生を中心とした教職員のご苦勞に対して、敬意と感謝を申し上げます。

地域、保護者の方々には、今後とも本校発展のため、ご協力を賜われますようよろしくお願い申し上げます。

子どもにとって楽しい学校、地域から信頼される学校として今後ますます飛躍されることを祈りお祝いの言葉といたします。

校歌

新山賢治 作詞
笹倉重男 作曲

Moderato (明るくさわやかに)

やさしい ーひかりと ーみどり のーかぜーと
とーおーい ーみらいの ーおおき なーきほーう

ことりが そらで あさをつ げ る さあ しゅっぱつ
ゆったり みつめ むねをは ろ う さあ しゅっぱつ

だ だいちの いぶき をお おきく す つ て
だ ゆめにー むかっ ていっほずつ あ る こう

ひかり がおか だいろく しょう がっ こう
ひかり がおか だいろく しょう がっ

こう

校歌の心

これからの子どもたちが生きてゆくのに大切だと思う、残された自然との共存・広い世界観・人類愛そして未来への尽きぬ希望を託しました。彼らが思春期・青春期に入っても口ずさめる歌になればと思います。

新山賢治

校歌制定まで

自分たちの手で心のこもったあたたかい校歌を作りたい、そんな願いから、校歌の詞は全校児童・保護者・教職員に呼びかけ作品を募集することになりました。“集まるかな？”という不安をよそに、二十四もの作品が寄せられました。そして全教職員で内容をじっくり検討・討議した結果、新山賢治氏（二年二組新山陽介君保護者）の作品に決定しました。

歌詞決定後、光六小のイメージも伝え、作曲家の笹倉重男氏に曲を作っていたいただき、明るくさわやかな光六小にぴったりの校歌が完成いたしました。

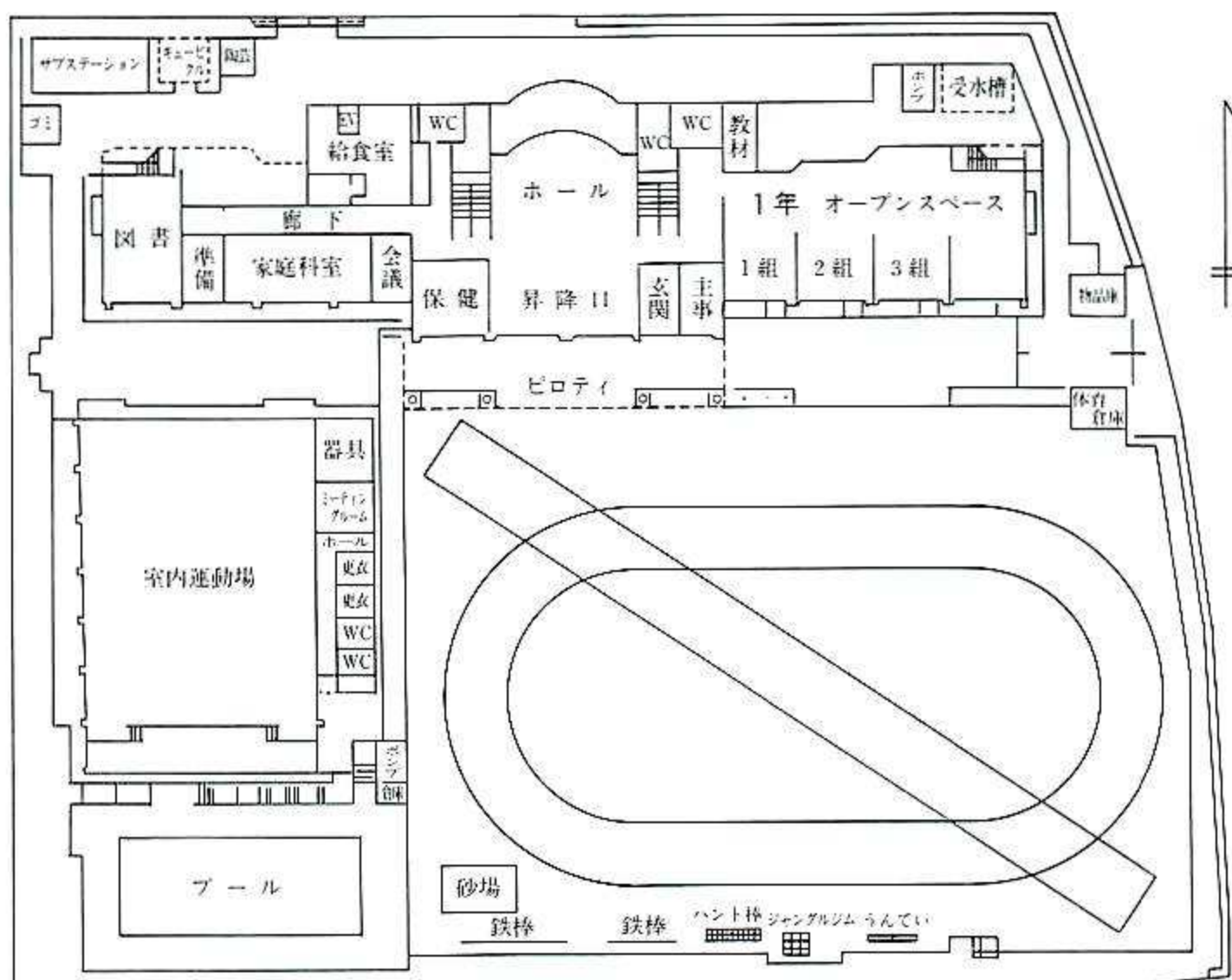
学校の概要

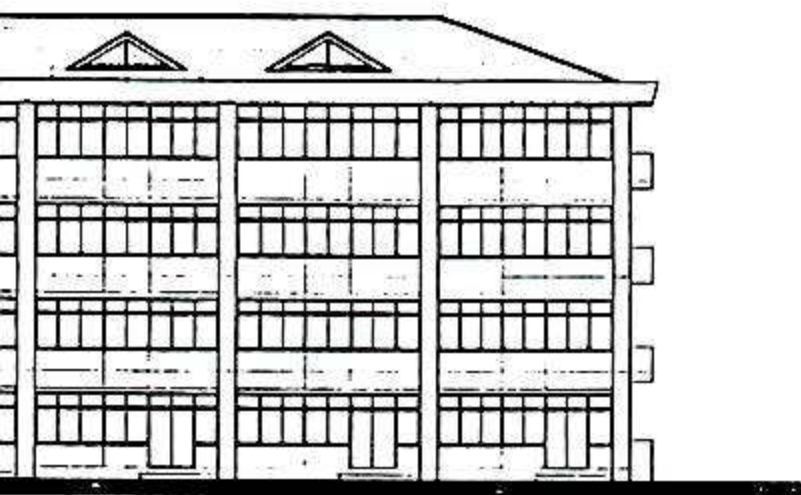
1. 所在地 練馬区光が丘3丁目6番1号
2. 敷地面積 12,000.76㎡
3. 建物 (1)校舎 鉄筋コンクリート造 4階建
延べ面積 6,214.08㎡
普通教室 24教室 特別教室 8教室
(2)体育館 鉄筋コンクリート造 2階建
延べ面積 1,108.78㎡
(3)プール 25m×10m 6コース
4. 通学区域 光が丘2丁目8番～11番
光が丘3丁目6番, 7番, 9番の一部および10番の一部
5. 開校 平成2年4月
6. 開校時の学校規模
平成2年4月開校

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	3	2	2	2	2	1	12
児童数	男	34	39	33	27	38	193
	女	51	39	39	28	27	197
計	85	78	72	55	65	35	390

上記には、光が丘第二小学校、光が丘第五小学校、光が丘第七小学校からの移籍児童のほか、平成2年3月・4月の新入居による児童数を含む。

7. 配置図

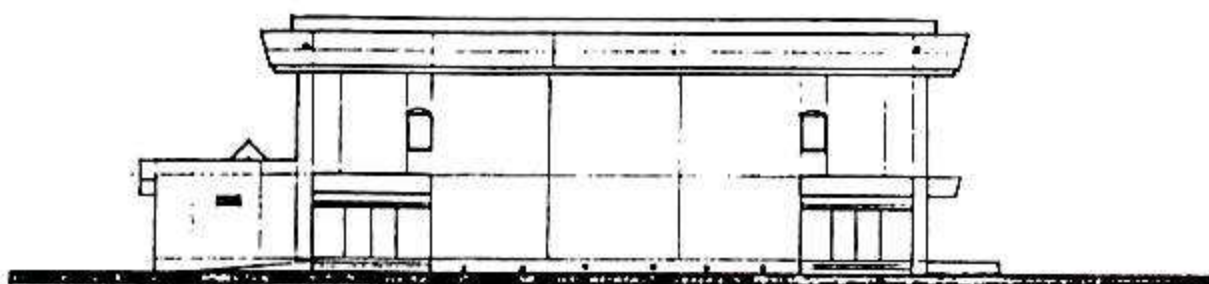




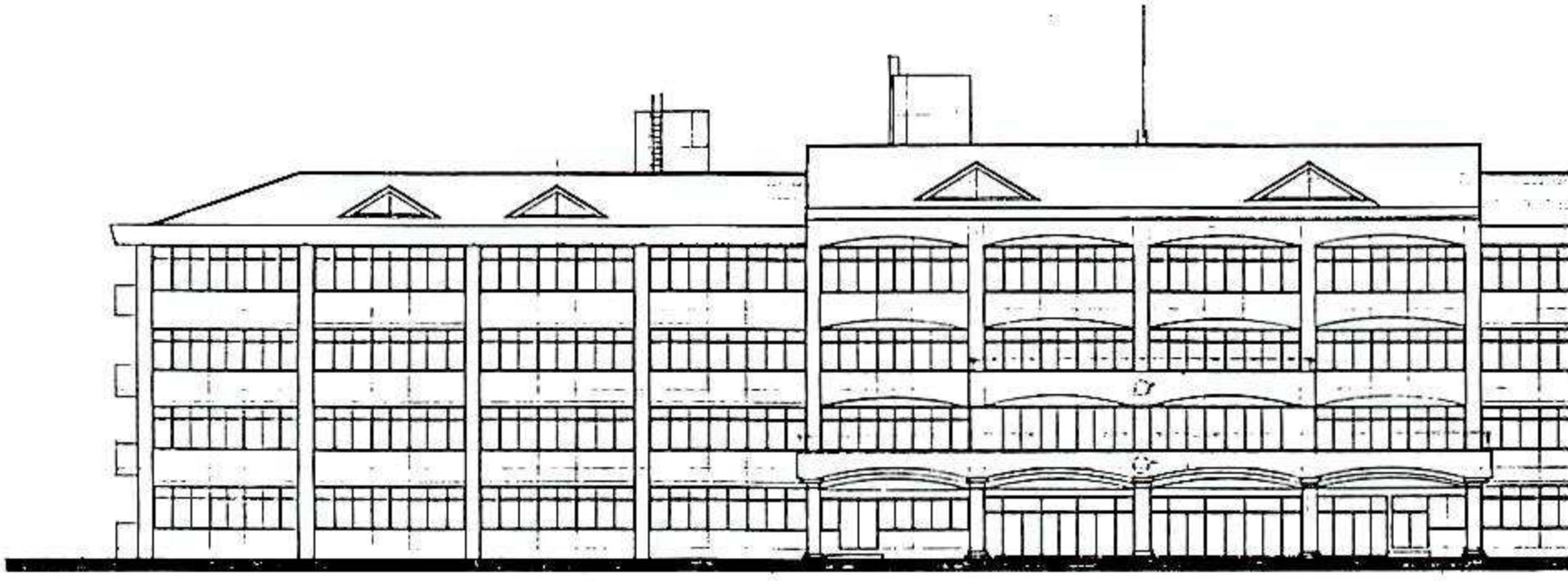
校舍西側 立面図



校舍東側 立面図



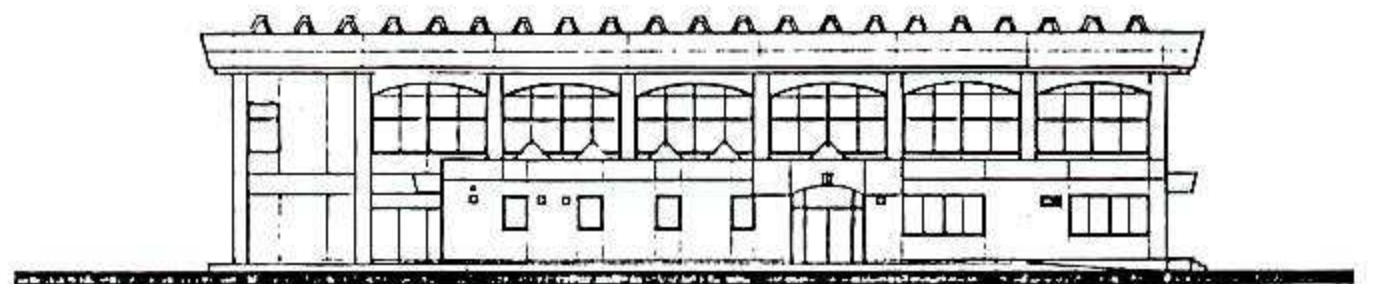
体育館北側 立面図



校舍南側 立面図

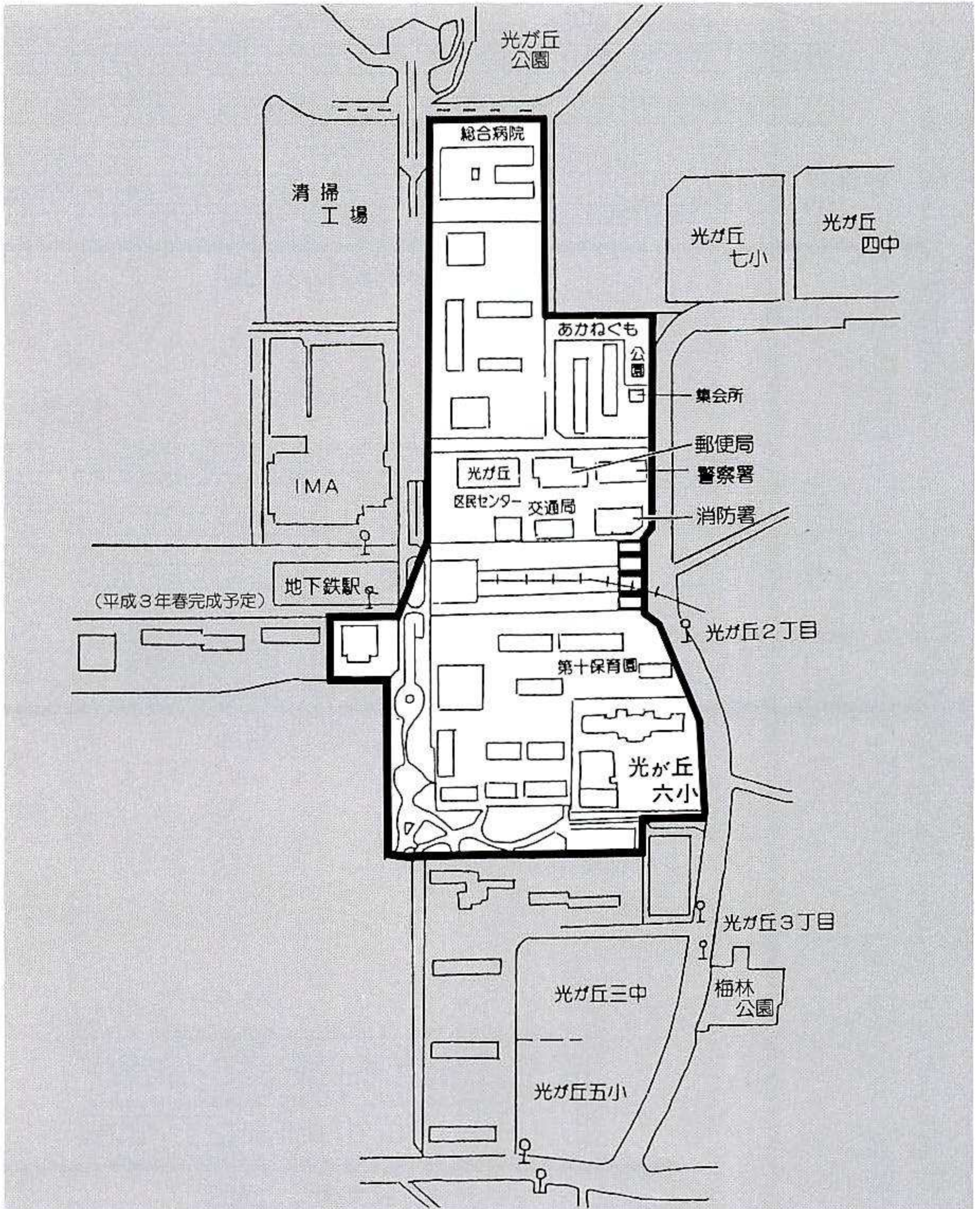


校舍北側 立面図

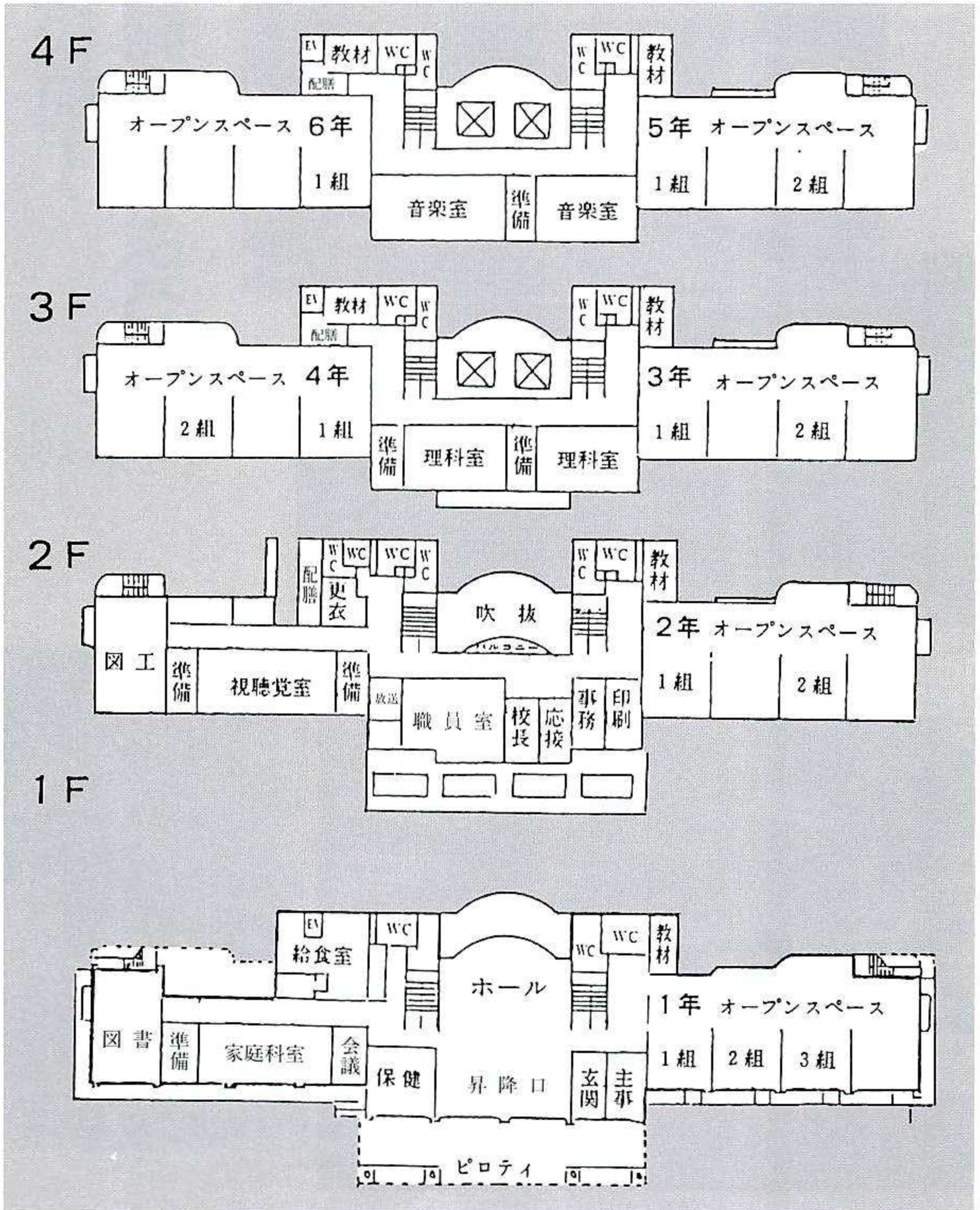


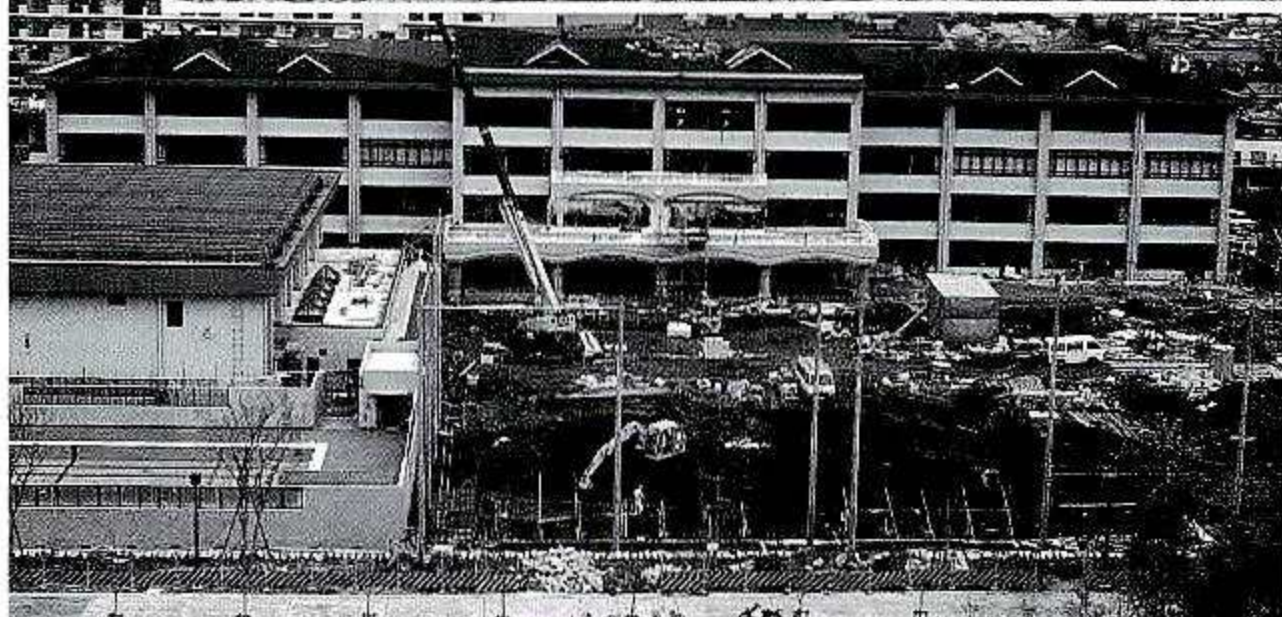
体育館東側 立面図

学区区域図



校舎各階平面図

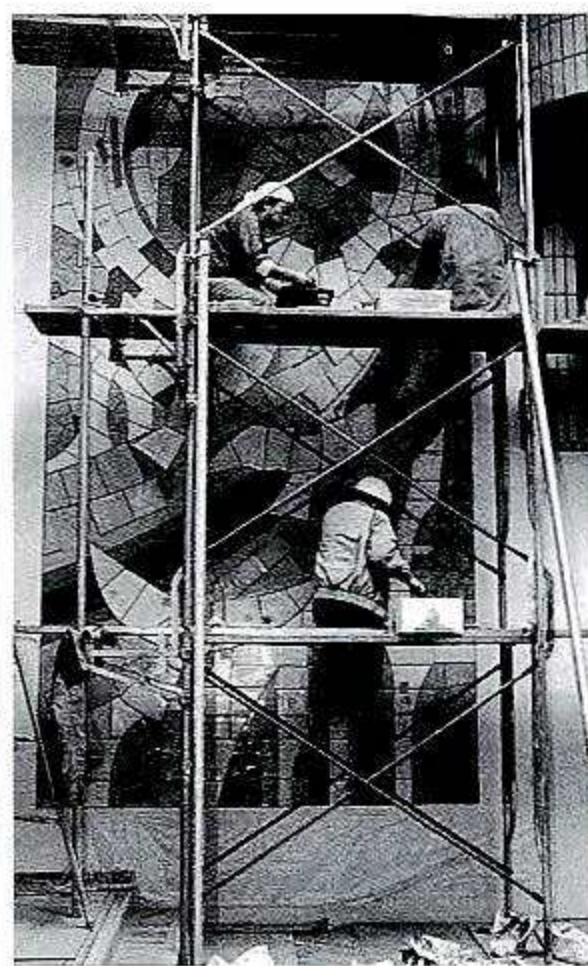




工事中の校舎



完成近い教室



飾装壁画取り付け

開校前 開校のようす

(アルバムより)



開校にともなう説明会
(4月30日)



入校式・始業式
(4月6日)

式前のようす

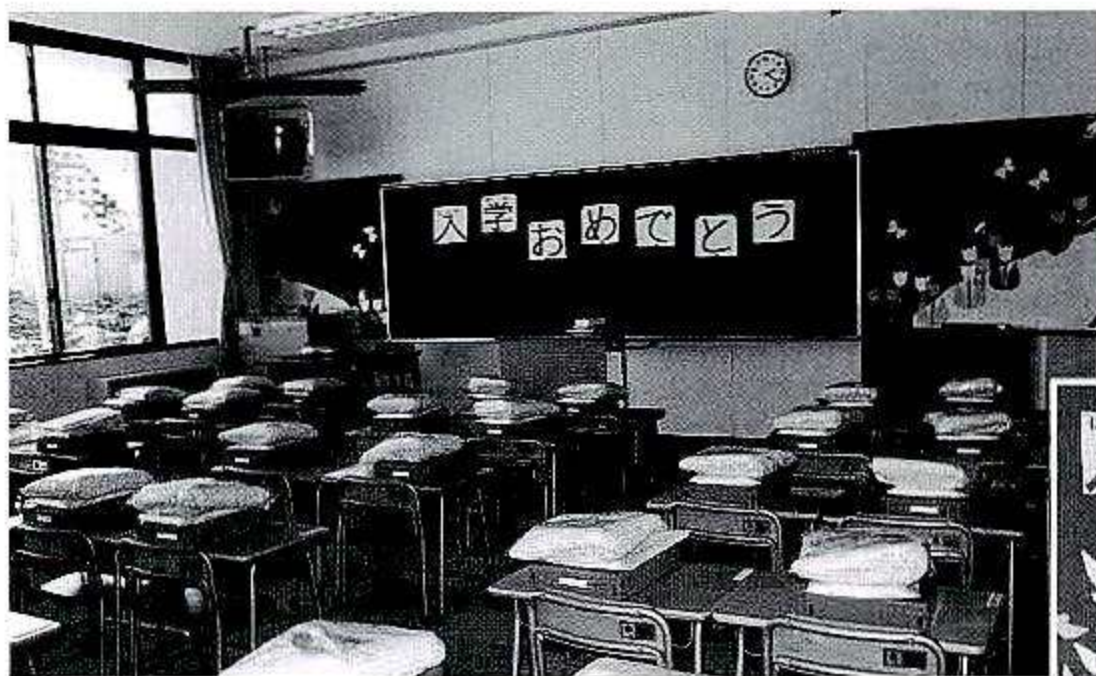


学校長の話



真剣な表情の児童

入学式（4月6日）



準備のととのった一年生教室（4月5日）

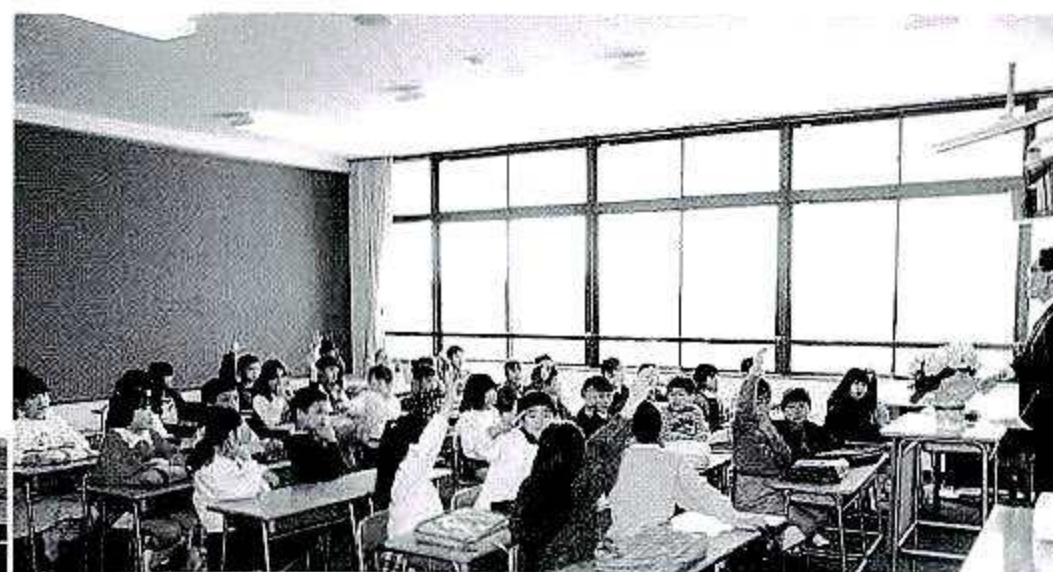


学校長の話聞き入る新入生



入学式の児童・保護者

開始された授業（家庭科）



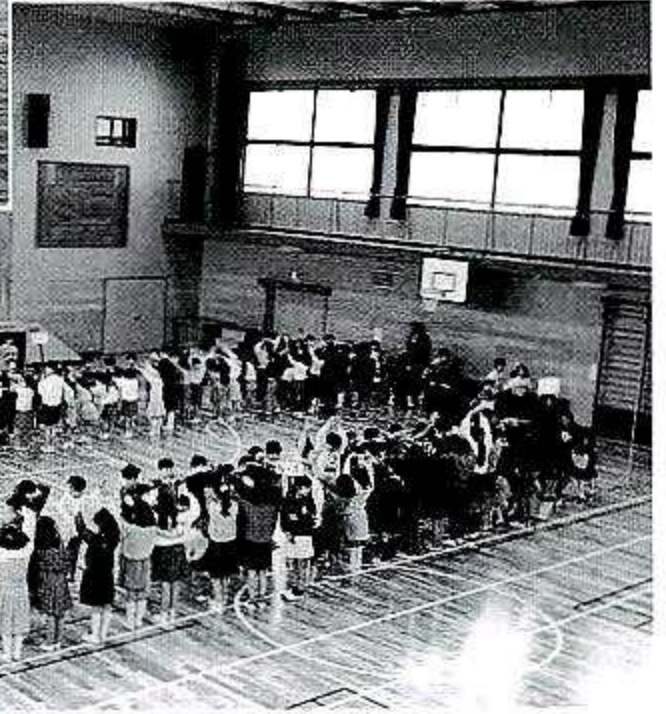
児童のに入った教室（4月6日）



一年生を迎える会 (4月24日)

全校児童でゲーム

六年生に手を引かれて入場



全校遠足 (4月28日)

光が丘公園へ



全員集合 緑が美しい



楽しいお弁当



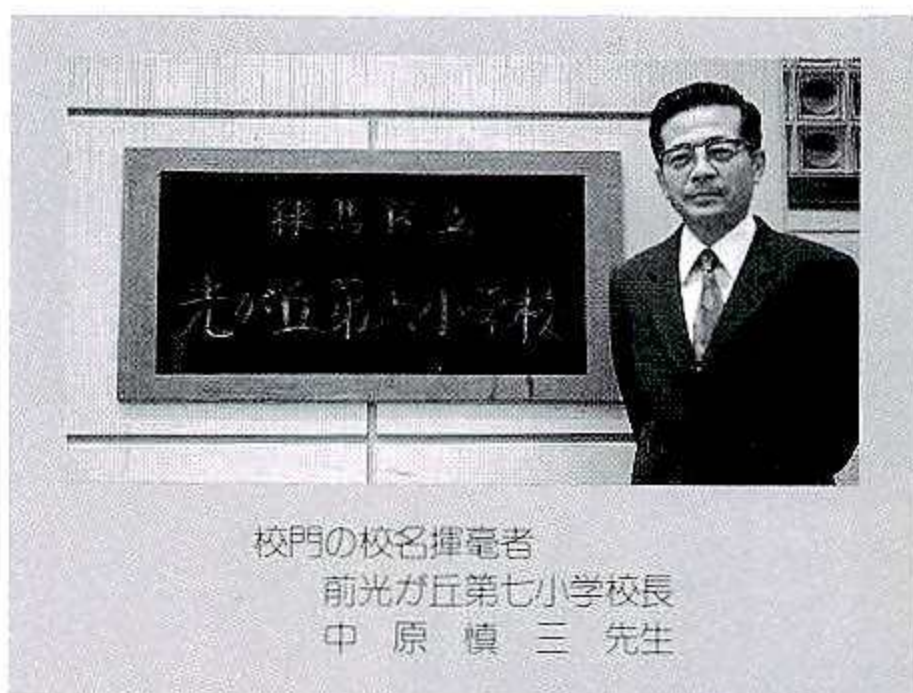
つつじの咲く中を公園へ



歯みがき指導カラーテスト（6月5日）



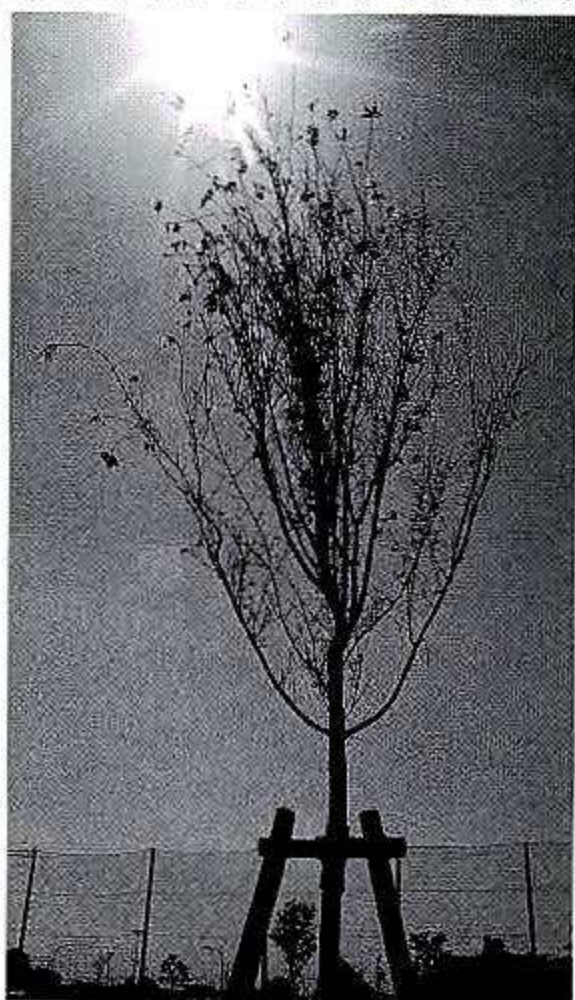
校庭の使用開始（5月11日）



校門の校名揮毫者
前光が丘第七小学校長
中原 慎三 先生



委員会紹介（5月24日）



校庭のけやき

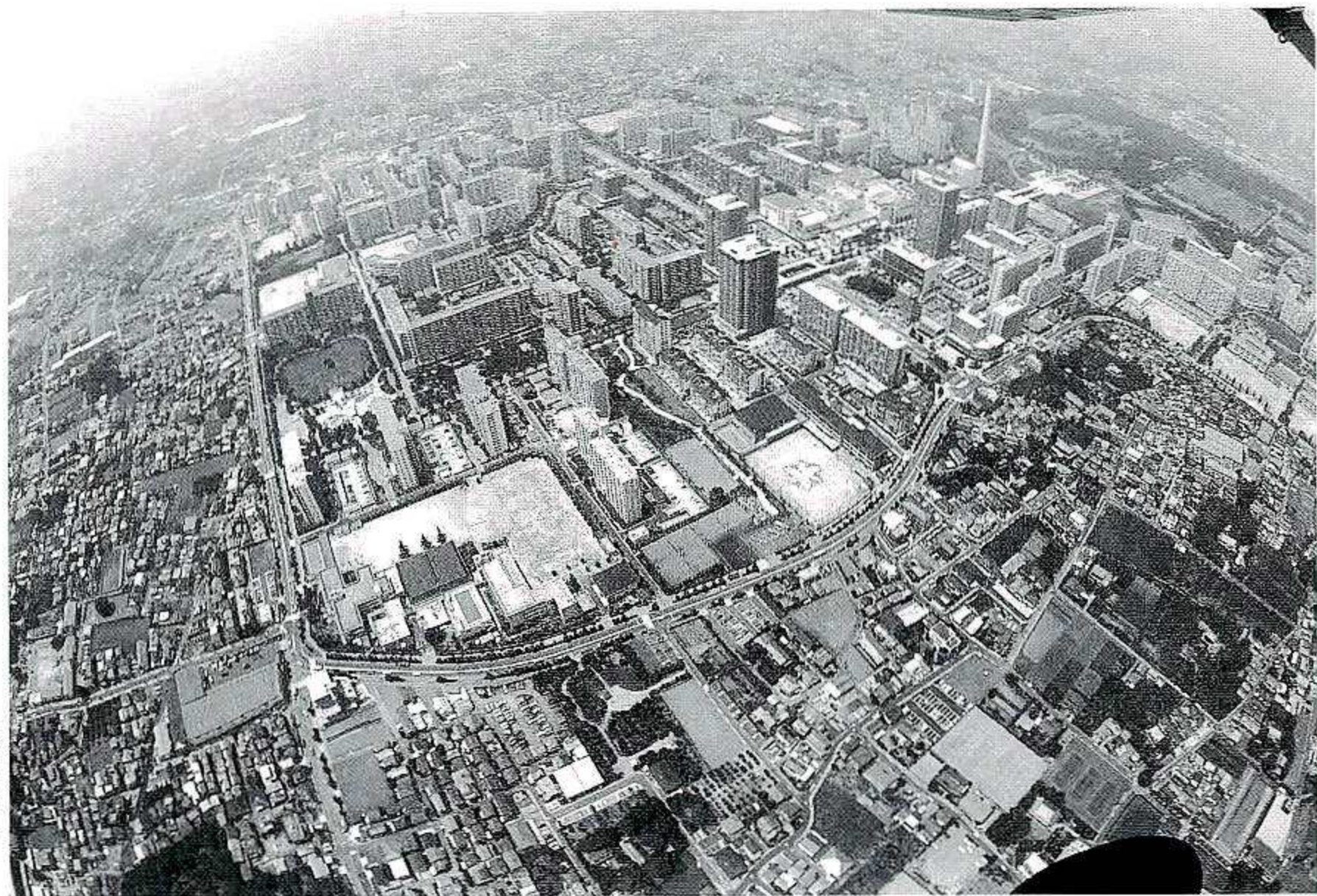
校章について

江村真一

校章は、けやきの葉と光をイメージの基本としてデザインしています。けやきは、古くから武蔵野に多く高さ三十メートルにも成長します。光は、光が丘を表わすとともに、生き物や人間が生活していくために、無くてはならない大切なものの一つであり希望のシンボルです。太陽の光は、一人ひとりに平等に降り注いでいます。

子どもたち一人ひとりが、明るく大きく成長してもらいたい」と願う気持ちは、みな同じです。まだ校庭のけやきは、細く短く弱よわしい姿です。これから毎日、太陽の光をいっぱい受けて大きく育っていきます。

光が丘第六小学校の校章は、全児童が一日いちにち身も心も成長していくことを願っています。



航空写真より

あとがき

四月、まだ校舎が完成していないうちに新学期がスタートしました。たいへんな状況の中での子どもたちの学校生活を、時には不安な気持ちで見守っていたいただいたことありましよう。

しかし、工事の方の汗して働く姿を見て、多くの方の手により創り上げられた「私たちの学校」を、子どもたちは身をもって知ることができました。

そして、こうした環境の中で、子どもたちは遊び一つをとりあげても工夫し、実に生き生きと活動しました。整えられた環境のみが教育の場でないことを教えてくれるような生活ぶりでした。

その子どもたちの様子の一端を、この記念誌でお知らせします。「開校したから」ではなく、「開校時から教職員が呼吸を一つに教育に打ち込み、子どもたちがすばらしく育っているから」祝いたいと考えます。

この記念誌がいつまでも、子どもや教職員、地域の皆様の宝物になればと願っています。
(教頭 坂田美由紀)

○中田 茂氏より写真をご協力いただきました。ここに心より感謝申し上げます。

平成三年十一月六日

開校記念誌

わたしたちの光六小

発行 東京都練馬区立光が丘第六小学校

〒一七九 東京都練馬区光が丘三丁目六番二号

電話 (五九九八)〇五〇一八一

印刷 東京書籍印刷株式会社



1990. 11. 6